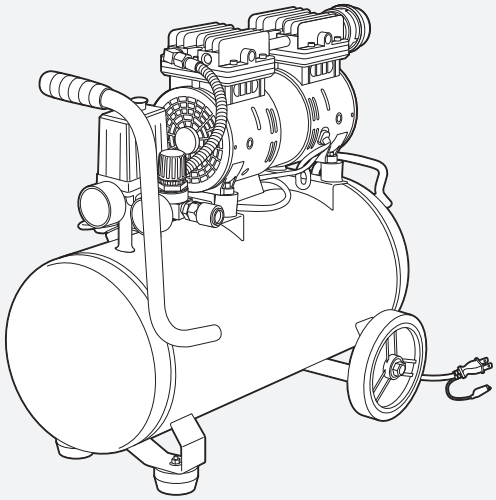
EARTH MAN®

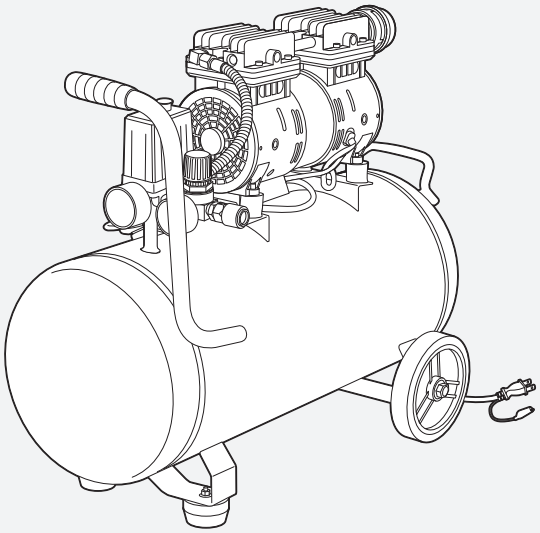
静音 オイルレス エアーコンプレッサー 25L ACP-25SLB 39L ACP-39SLB

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。
また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。



25L



39L

目次

お使いになる前に 1
安全にお使いいただくために
エアーコンプレッサーを安全にお使いいただくために
本製品を安全にお使いいただくために
本製品について 7
用途
各部の名称・セット内容
機能
仕様
使用前の準備 10
各部の取付け
使用前の確認
本製品の操作方法
試運転
使い方 14
使用について
お手入れ 18
お手入れと保管方法
故障かな?と思ったら
お買上げの後に 23
保証書

※この取扱説明書では、使用方法などの説明に25Lのイラストを掲載しています。39Lとは形状が異なる箇所がありますので、あらかじめご了承ください。

お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

TAKAGI®

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

●必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。

●本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。
また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。

●『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

⚠ 警 告	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注 意	人が傷害を負う可能性及び 物的損害の発生が想定される内容
注	本製品や付属品の取扱いなどに関する重要な注意事項

エアーコンプレッサーを安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

⚠ 警 告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

●作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

2. 作業場及び設置場所の周囲状況も考慮してください。

●必ず屋内で使用してください。

●作業場は十分明るくしてください。

●ガソリン・シンナー・塗料・接着剤等引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)

●濡れた場所や湿気の多い場所では使用・設置しないでください。(感電・故障の原因)

●木くずなどのごみ・ほこり・粉じん等が多く、空気が汚れている場所では使用・設置しないでください。(事故・故障の原因)

3. お子様や作業者以外を近づけないでください。

●作業者以外、本製品やコードに触れさせないでください。

4. 作業に適した服装で作業してください。

●作業をするときは、保護めがねを着用し、粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

●ヘルメット・保護手袋・滑り止めのついた保護長靴等を着用し、作業に適した服装（すそじまりの良い長袖・長ズボン）で作業してください。

●だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。

●長い髪は帽子などで覆ってください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

●製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆるみ・ひび割れ等製品や付属品に異常がないことを確認してください。

●作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音等がないことを確認してから作業してください。

●本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 用途に合った使い方をしてください。

●タンク内の圧縮空気は絶対に人間及び動物の吸入用としては使用しないでください。

●空気の圧縮のみに使用してください。（爆発の原因）

●本製品に接続するエアーホース・エアーツールは、必ず使用圧力の範囲内で使用してください。

7. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

●この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。（部品脱落や故障によるけがの原因）

8. 使用中は必ず本製品を硬く水平な場所に設置してください。

●落下、移動のおそれがある場所では、ハンドルをロープで縛り付けるなどして確実に本製品を固定してください。

9. 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

●濡れた手での取扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因）

●本製品の使用中に、身体をアース（接地）されている物（エアコンの室外機や金属製の支柱等）に接触させないでください。（感電の原因）

11. 通気孔をふさがないでください。

●本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。また、箱の中・車の中等狭い場所で使用しないでください。（火災・故障の原因）

●開口部やファン部に異物を入れたり、近づけたりしないでください。

12.使用電源は必ず家庭用AC100V電源を使用してください。

●200V用の電源に接続して使用しないでください。（故障・破損の原因）

●発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。（火災・故障の原因）

●本製品を他の機器などと同一のコンセントで併用しないでください。

●昇圧器などのトランス類は使用しないでください。（火災・故障の原因）

13.コードなどの取扱いに注意してください。

●使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった場所に近づけないでください。（火災・感電・故障の原因）

●コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。（コード破損の原因）

●作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。

14.延長コードを使用しないでください。

●電圧降下により、エアーコンプレッサーの動作不良や故障、建物のブレーカーが落ちる原因となります。

15.必ずアース（接地）してください。

●故障や漏電のときに、感電する原因となります。

●電源は必ずアース端子の付いている物を使用してください。アース端子のない場合や、アースの埋め込み等は専門の電気工事店に相談してください。

●アース線をガス管に接続しないでください。（火災・爆発の原因）

●感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

16.使用するエアーホース・エアーツールに異常がないことを確認してください。

●エアーホースの破れ・金具のゆるみ、及びエアーツールに傷・ひび割れ等がないことを確認してください。異常がある物は使用しないでください。

●使用するエアーツールのプラグが、エアーツールと完全に固定されていることを確認してください。完全に固定されていないと使用中に外れるおそれがあります。（事故・けがの原因）

17.不意な始動は避けてください。

●電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

●使用しない場合・作動すると危険な場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、タンク内の圧縮空気を全て排出し接続しているエアーホース・エアーツールを全て取り外してください。

18.エアーコンプレッサーの上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。（破損・亀裂・変形の原因）

19.油断せず、十分注意して使用してください。

●エアーツールを使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等十分注意して慎重に使用してください。

●疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。

20.やけどに注意してください。

●運転時及び運転直後は、本体（モーター・シリンダーヘッド・配管部周辺）などが高温となっています。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.タンク内に圧縮空気が充填されていない状態、又は吐出圧力がかかっていない状態でエアーホース・エアーツールを脱着してください。

●圧力がかかったままエアーホース・エアーツールを脱着すると、反動により事故やけがの原因となります。

22.タンク内に圧縮空気が充填されたまま、長時間直射日光に当てたり、高温になる場所に放置しないでください。（タンク破裂の原因）

23.本製品を移動するときは必ずタンク内の圧縮空気を全て排出してください。

●移動中にぶつけたり、落下するとタンクが破裂し、けが・事故の原因となります。

24.使用後及びお手入れなどを行うときは、毎回必ず電源プラグをコンセントから抜き、タンク内の圧縮空気・水等を全てドレンコックより排出してください。

●圧縮空気を排出するときは絶対に顔や手をドレンコックに近づけないでください。

●ドレンコックを徐々に開く方向にまわしてタンク内の圧縮空気を排出してください。

25.定期的に点検してください。

●電源プラグ・通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。（火災・故障の原因）

26.使用しないときはきちんと保管してください。

●使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

●電動工具本体を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下）に保管しないでください。

27.分解・改造をしないでください。

●本製品にはいかなる改造も加えないでください。

28.ご自分で修理しないでください。

●故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてタンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出して本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は（株）髙儀「お客様相談窓口」（ホームページ含む）に相談してください。

●修理の知識や技術のない方が修理すると事故やけがの原因となります。

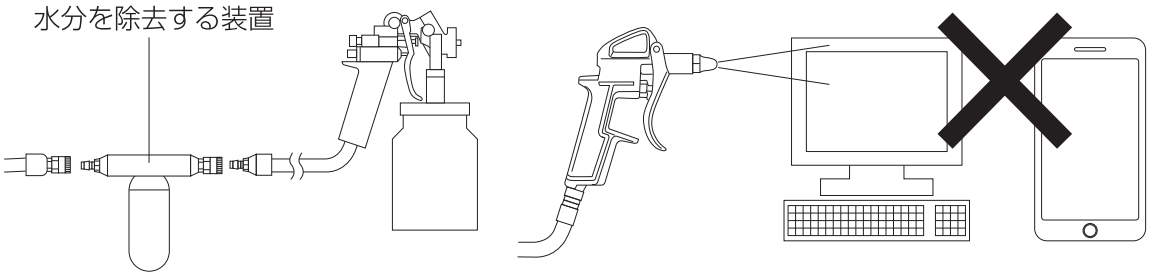
この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

⚠ 注 意

1. 圧縮空気には、水分・タンク内のさび・鉄粉等が混入する場合がありますので注意してください。

●特に塗装などを行うときは、市販の水分を除去する装置（エアーフィルターなど）を必ず取り付けてください。

●精密機械への吹き付けには絶対に使用しないでください。（破損の原因）



2. 騒音に注意してください。

●法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

3. こまめにお手入れしてください。

●本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は（株）髙儀「お客様相談窓口」（ホームページ含む）に相談してください。

4. 本製品はタンク内塗装を施しておりますが、長期間（1か月以上）使用しない場合は、タンク内のさびつきを防止するため、保管する前にドレンコックを開いた状態で5分以上の運転を行ってください。

本製品を安全にお使いいただくために

⚠警 告

1.延長コードを使用しないでください

●電圧降下により、エアーコンプレッサーの動作不良や故障、建物のブレーカーが落ちる原因となります。

2.本製品の取扱いに注意してください。

●本製品は重量物ですので、付属品を取り付けるときは手や身体を挟まないよう注意してください。

⚠注 意

1.通気孔はこまめに掃除してください。

●通気孔などにごみやほこり等が詰まってしまうと、能力低下・故障の原因となります。定期的にごみ・ほこりを取り除いてください。

2.空気が汚れている場所（ごみ・ほこり・粉じん等が多い場所）では使用しないでください。（故障の原因）

3.本製品は床材の種類により底面の足ゴムの跡が残るおそれがありますので、注意してください。

4.常温（0～40℃）で使用してください。

注

●本製品はエアーツールのエアー源として使用してください。エアーコンプレッサーが連続運転となるような使い方はやめてください。製品の寿命を縮めたり、性能を低下させる原因となります。

本製品について

用　途　※用途に合わせて吐出圧力を調整しながら使用してください。

注

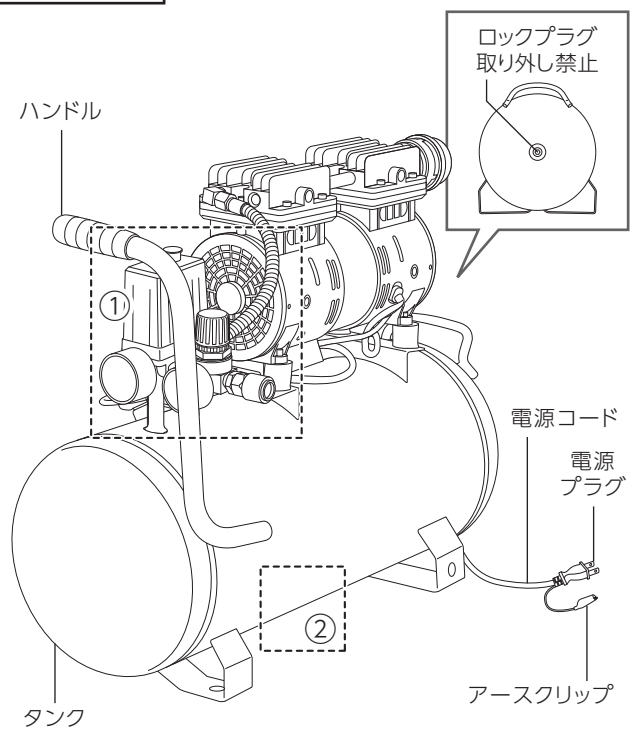
●本製品はエアーツールのエアー源として使用してください。エアーコンプレッサーが連続運転となるような使い方はやめてください。製品の寿命を縮めたり、性能を低下させる原因となります。

◆エアータッカーなど、各種エアーツールを使用する作業のエアー源に
◆エアーブラシ・スプレーガン等を使ったペイント作業のエアー源に
◆タイヤ・ボール・ゴムボート・エアーマット等の空気入れのエアー源に

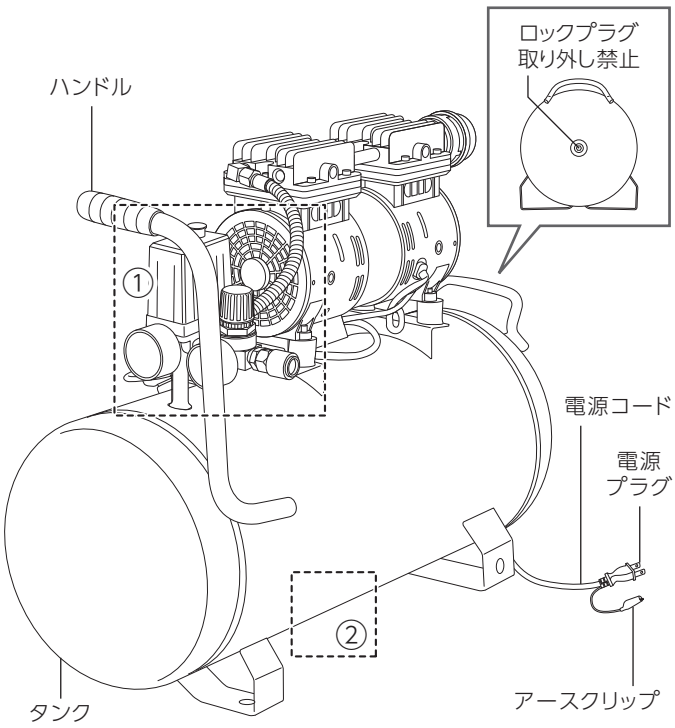
各部の名称・セット内容

本　体

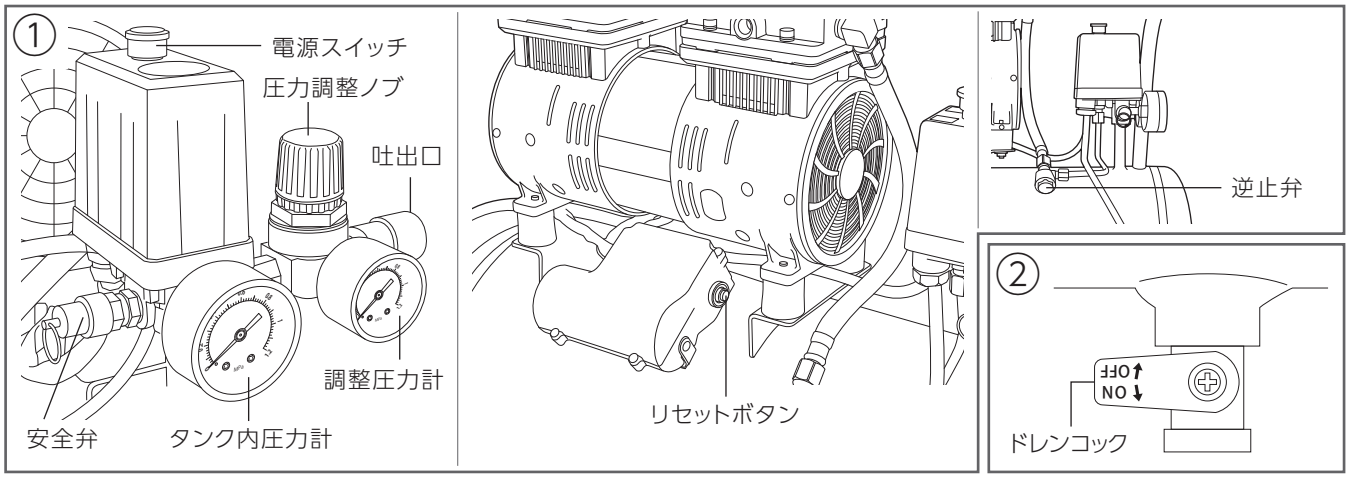
25L ACP-25SLB



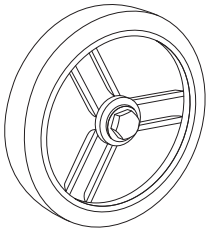
39L ACP-39SLB



※ロックプラグは絶対に外さないでください。(タンク故障・破損の原因)

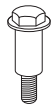


付属品



キャスター

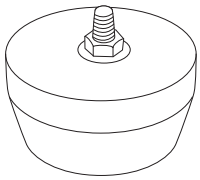
【ねじ類詳細】



六角ボルト ×1

六角ナット ×1

×2



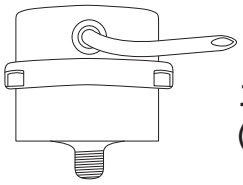
足ゴム

【ねじ類詳細】

六角ボルト ×1

六角ナット ×1

×2



エアーフィルター ×1
(チューブ付き)

機　能

●リリース機能(自動圧力再起動方式)

タンク内圧力が上がると、圧力スイッチの働きにより、自動的に運転を停止します。
その後タンク内圧力が低下すると自動的に再起動します。

●プロテクター機能

電圧降下が起きたときや、コンプレッサー本体に不具合(故障・破損等)があった場合、焼損防止用のプロテクターが作動し、運転を停止します。プロテクターが作動した場合の詳細はP15を参照してください。

●安全弁

タンク内圧力の上がりすぎによるタンク破裂を防ぐために一定以上のタンク内圧力になると自動でタンク内の圧縮空気を排出します。

●モーター保護装置

モーターが高温となった場合、モーター焼損防止のため、自動的に運転を停止します。
モーター保護装置が作動すると、温度が下がるまでしばらく作動できません。
詳細はP20「故障かな?と思ったら」を参照してください。

仕　様

型　　式	ACP-25SLB	ACP-39SLB
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格電流	50Hz:5.4A 60Hz:5.8A	50Hz:6.3A 60Hz:7.5A
定格消費電力	50Hz:530W 60Hz:570W	50Hz:620W 60Hz:740W
吐出量	50Hz:約105L/min 60Hz:約125L/min	50Hz:約125L/min 60Hz:約150L/min
使用最高圧力	約0.8MPa(8.2kgf/㎠)	
安全弁設定圧力	約0.88MPa(9.0kgf/㎠)	
リリース起動圧力	約0.5MPa(5.1kgf/㎠)	
吐出圧力設定範囲	約0～0.8MPa(0～8.2kgf/㎠)	
充填時間	50Hz:約4.5分 60Hz:約4分	50Hz:約5分 60Hz:約4.5分
接続（吐出）口	ワンタッチソケット1/4	
タンク容量	約25L	約39L
騒音値	約60dB/m	約65dB/m
本体サイズ	約 長さ580×幅330×高さ540(mm)	約 長さ670×幅370×高さ590(mm)
コード長	約1.8m	
質量	約22.1kg	約26.0kg
定格時間	30分	

※本製品は連続吐出運転はできません。
※0.1MPa≒1.02kgf/㎠
※充填時間はあくまでも目安です。環境状況や使用年数等で変化します。
※製品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

使用前の準備

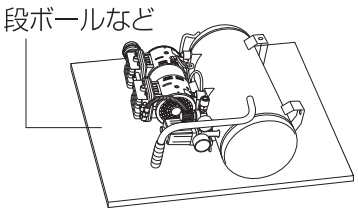
各部の取付け

⚠ 警 告

●本製品は重量物ですので、付属品を取り付けるときは手や身体を挟まないよう注意してください。

注

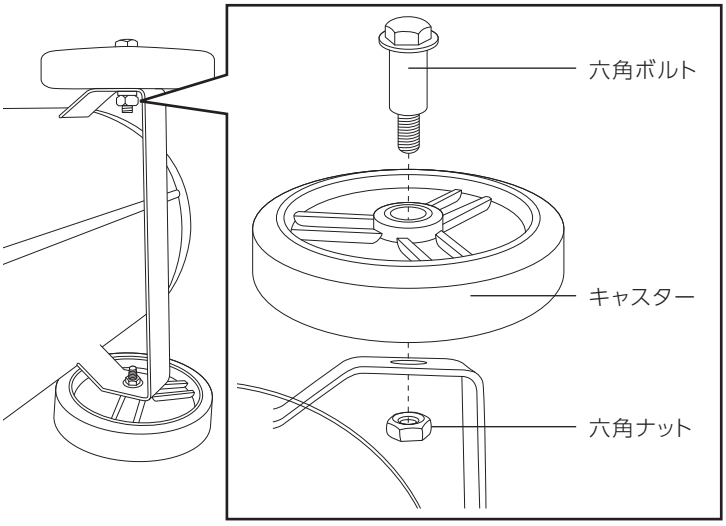
●キャスター・足ゴムを取り付けるときは必ず本製品を倒して取り付けてください。
●本製品を傷めないように下にダンボールなどを敷いて本製品を倒してください。
●スパナなどが2つ必要です。セット内容に含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。



キャスターの取付け方法

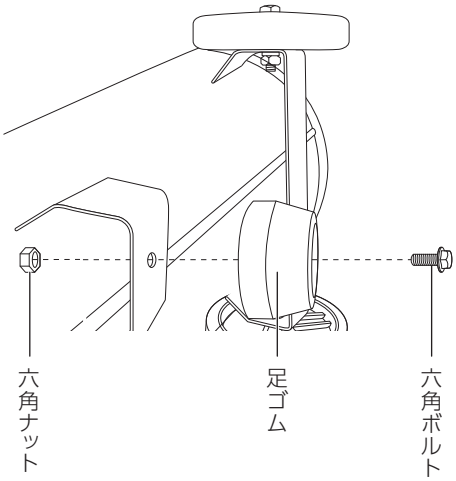
キャスターを図のように取り付けて六角ナットをスパナなどで固定し、六角ボルトをもう一方のスパナなどでしっかりと締め付けてください。
(2か所)

※キャスターの動きが悪い場合は六角ボルトを少しゆるめてキャスターの動きを調整してください。



足ゴムの取付け方法

足ゴムを図のように取り付けて六角ボルトをスパナなどで固定し、六角ナットをもう一方のスパナなどでしっかりと締め付けてください。
(2か所)

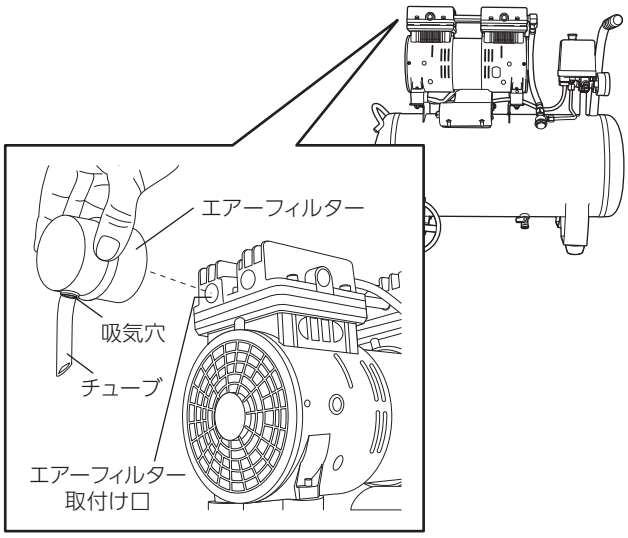


エアフィルターの取付け方法

本体にあるエアーフィルター取付け口に付属のエアーフィルターを回して取り付けてください。

このとき、ごみなどが入らないようエアーフィルターにある吸気穴(チューブ先端)を下に向けてください。

※チューブを取り外した状態で使用しても実用上に支障はありません。(チューブは吸気音の抑制のため)紛失した場合もそのまま使用できます。



使用前の確認

1.使用電源を確認してください。

⚠警 告

●使用電源は必ず本製品に表示されている電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
●電源は電圧降下を防ぐために15A単独コンセントから直接取ってください。

2.アース(接地)されているか確認してください。

⚠注 意

●電源プラグをコンセントに差し込む前に本製品のスイッチが切れていることを確認してからアースクリップを接地してください。

3.本製品・付属品に破損・ゆがみ・ボルトのゆるみ・部品の脱落等の不具合がないことを確認してください。

4.エアーフィルターがきちんと取り付けられているか確認してください。

●吸気穴を下に向けてください。

5.延長コードを使用しないでください。

●電圧降下により、エアーコンプレッサーの動作不良・故障、及び建物のブレーカーが落ちる原因となります。
●離れた場所で作業するときは、エアーホースの長さで対応してください。

6.騒音に注意してください。

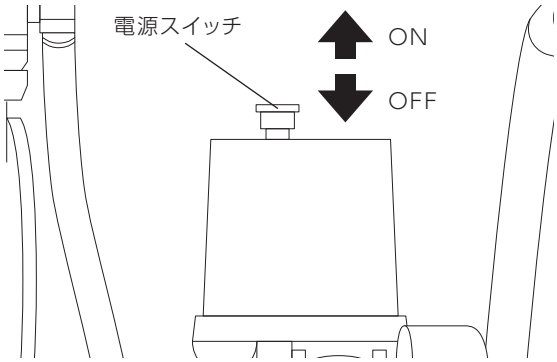
●法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

本製品の操作方法

電源スイッチ

電源スイッチを引き上げると電源が入り、押し下げると電源が切れます。

※電源スイッチが固い場合は、電源スイッチを回しながら引いてください。



圧力調整ノブ

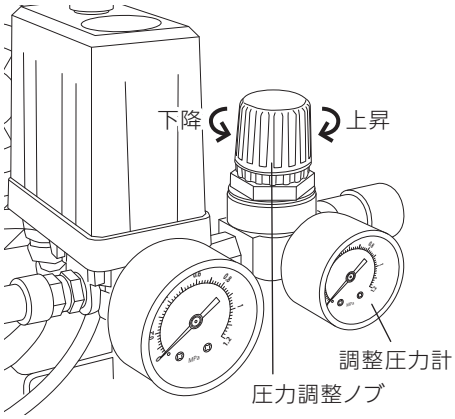
⚠ 注 意

●圧力調整機能の特性上、必ず使用圧力より低い圧力からゆっくり圧力を上げて調整してください。高い圧力から設定すると調整圧力計の表示と使用圧力に誤差が生じます。

圧力調整ノブで吐出口から出る圧縮空気の圧力を調整することができます。

圧力調整ノブを回して、調整圧力計で確認しながらお好みの圧力に調整してください。

●時計回り:圧力が上昇します。
●反時計回り:圧力が降下します。



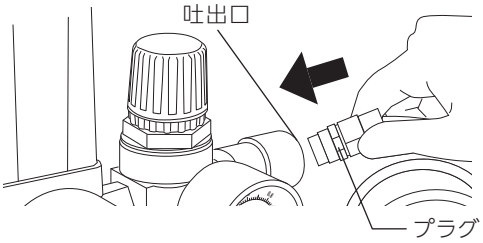
エアパーツの取付け・取り外し方法

⚠ 警 告

●タンク内に圧縮空気が充填された状態でエアーパーツの取付け・取り外しをするときは必ず圧力調整ノブで調整圧力計の数値を0MPaにしてください。(反動が大きく、けが・破損の原因)

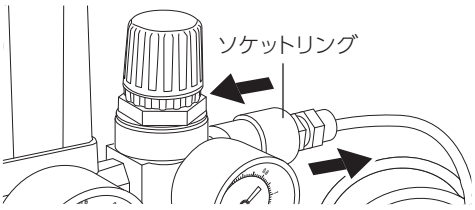
●取付け

エアーパーツに付いているプラグを吐出口に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



●取り外し

吐出口のソケットリングを引くとエアーパーツのプラグが外れます。



試運転

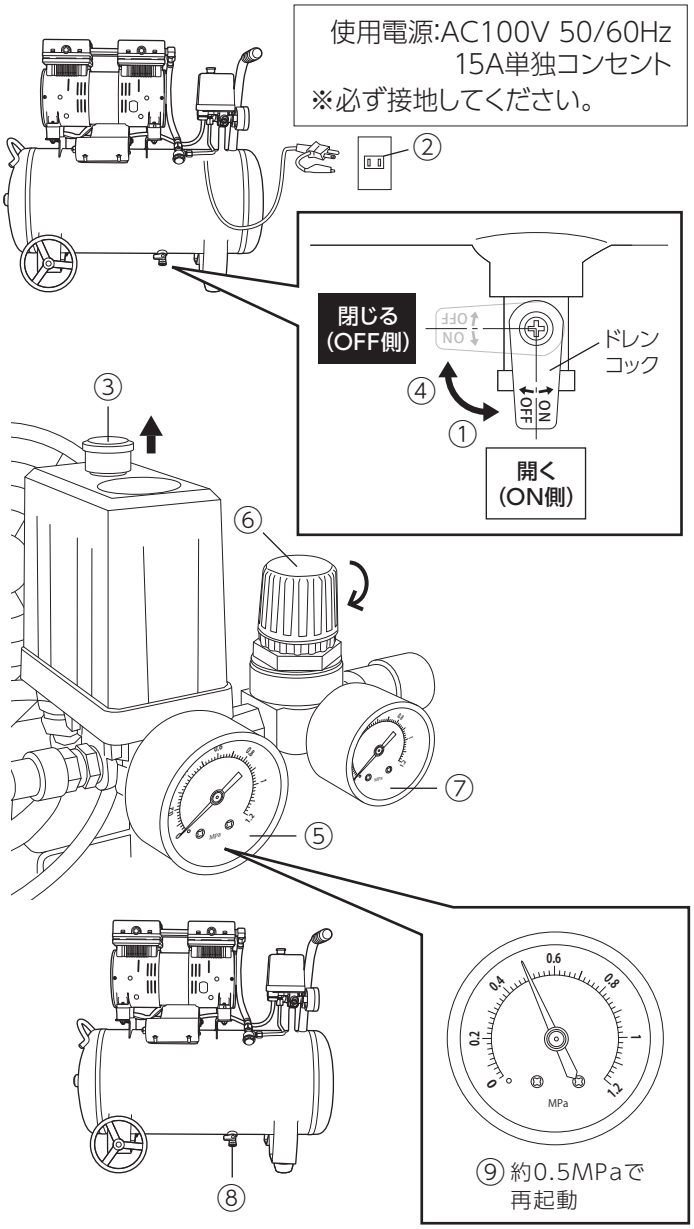
⚠警告

- ●タンク内の圧縮空気をドレンコックから排出するときは絶対に顔をドレンコックに近づけないでください。圧縮空気によって目や耳を傷める原因となります。
- ●ドレンコックを徐々に開く方向にまわしてタンク内の圧縮空気を排出してください。
- ●運転時及び運転直後は、本体(モーター・シリンダーヘッド・配管部周辺)などが高温になっています。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

1. ドレンコックを開く方向にまわします。(①)
2. 電源スイッチが切れていることを確認してアースクリップを接地し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。(②)
3. 電源スイッチを入れてください。(③)
   ※電源スイッチが固い場合は、電源スイッチを回しながら引いてください。
4. ドレンコックから空気が出ていることを確認できたら、ドレンコックを閉じる方向にまわしてください。(④)
5. タンク内圧力計で圧力が上昇するか確認してください。(⑤)
6. 圧力調整ノブを時計回り最大まで回転させてください。(⑥)
7. 調整圧力計で吐出圧が上昇しているか確認してください。
   異音・異常な振動等の問題がなければ充填を続けてください。(⑦)

約0.8MPaでモーターが停止します。

8. 5分程放置し、各部からエアー漏れなど異常がないことを確認してください。
9. ドレンコックを少しゆるめて圧縮空気を徐々に排出してください。(⑧)
10. タンク内圧力が約0.5MPaに下がったところでモーターが再起動することを確認してください。(⑨)



以上の点検で異常がなければ、一旦電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、ドレンコックから圧縮空気を全て排出してください。

点検・確認で異常がありましたら、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

使い方

使用について

使用手順

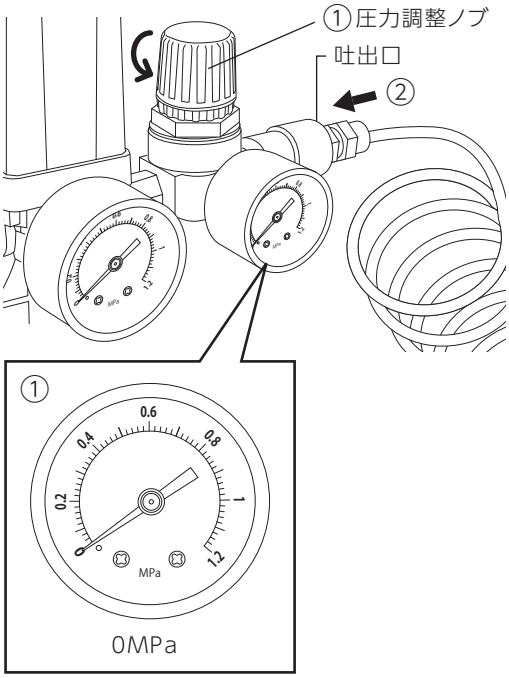
⚠ 警 告

- 使用するエアーツールは絶対人に向けたり、顔を近づけないでください。
- 接続する前にエアーツールのプラグがエアーツールと完全に固定されていることを確認してください。完全に固定されていないと使用中に外れるおそれがあります。(事故の原因)
- 本製品に接続するエアーホース・エアーツールは必ず使用圧力の範囲内で使用してください。
- 開口部や隙間に手やとがった物を入れたり近づけたりしないでください。(事故・けがの原因)

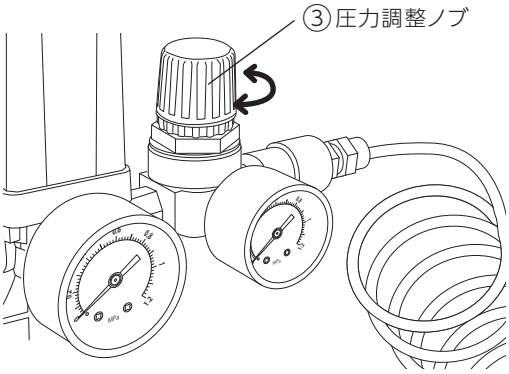
⚠ 注 意

- エアーツールのプラグを本製品の吐出口に接続するときは必ず調整圧力計の数値を0MPaにしてください。
- 使用する前に必ず試運転を行ってください。
- 使用時や、使用直後は本製品の金属部が高温となることがありますのでやけどに注意してください。

1. ドレンコックを開く方向にまわして、電源スイッチを入れてください。
2. ドレンコックを閉じる方向にまわしてタンク内圧力を上昇させてください。
3. タンク内の圧力が上昇し、4～5分程度で自動的に停止します。
4. 調整圧力計の数値が0MPaになるまで圧力調整ノブを反時計回りに回します。(①)
5. 使用するエアーツールのプラグを本製品の吐出口に接続してください。(②)



6. 使用するエアーツールの使用圧力に吐出圧力を合わせてください。
   吐出圧力は圧力調整ノブで調整してください。(③)
7. 接続したエアーツールで作業を開始できます。

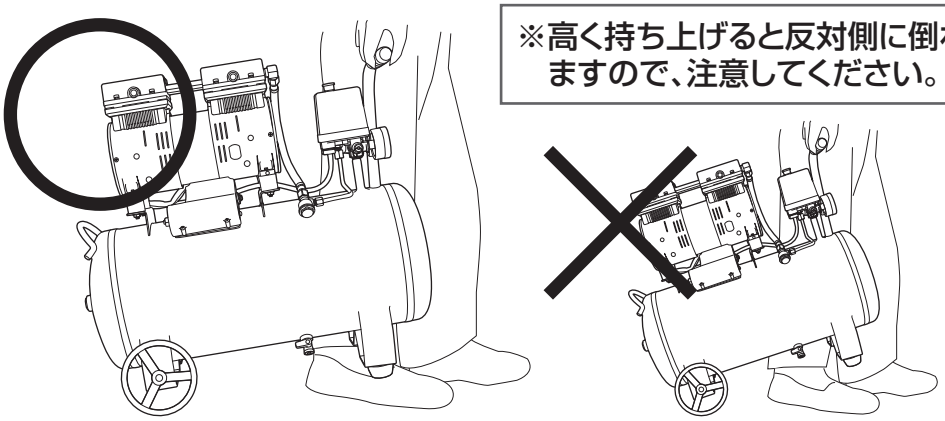


運搬方法

⚠警告

- 運搬するときは必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンコックから圧縮空気を全て排出してください。
- 本製品は重量物ですので、運搬・設置するときは本製品に手や身体等を挟まないよう十分注意してください。

キャスターで移動するときは、ハンドルを少し持ち上げると移動できます。



※高く持ち上げると反対側に倒れますので、注意してください。

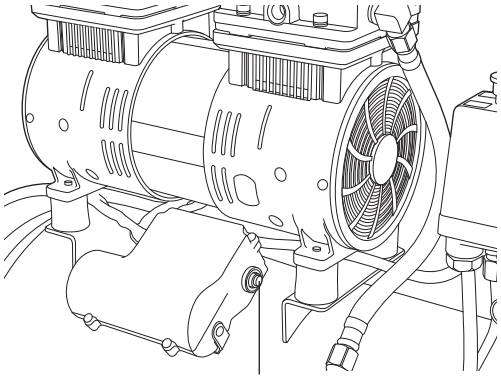
プロテクターが作動した場合

プロテクターが作動した場合は、電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜いてから、タンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出し、以下の項目を確認して原因を取り除いてください。
※プロテクター機能の詳細はP8を参照してください。

- 延長コードを使用していないか。
- 同一のコンセントで他の電動工具及び電気製品を使用していないか。
- 通気孔付近に物がないか。また、通気孔を布などで覆っていないか。
- 15A単独コンセントから直接電源を取っているか。

●復旧の仕方

1. 原因を取り除いた後、本製品を熱のこもらない場所で十分に冷やしてください。
2. 冷めたことを確認してリセットボタンを押してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れてください。



上記手順で復旧作業を行っても起動しない場合や、すぐにプロテクターが作動してしまう場合には、本体の故障が考えられます。その場合は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

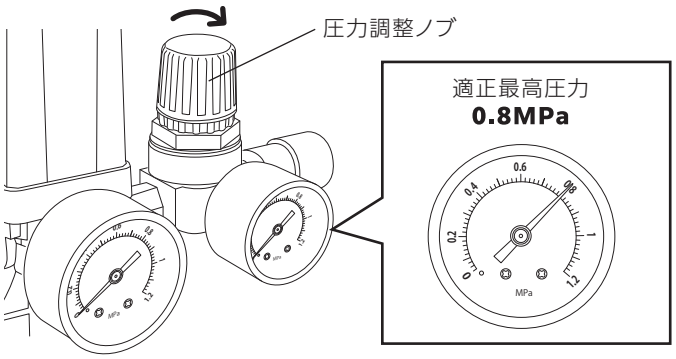
使用最高圧力の調整

⚠警 告

- ●最高圧力が0.8MPaから大きくずれていた場合のみ調整してください。
- ●最高圧力を0.8MPa以上には絶対に設定しないでください。
- ●圧力調整ねじは必ず半回転ずつ回転させてください。何回転もさせると安全弁が作動したり、タンクの限界圧力を超え、破裂する可能性があります。

●使用最高圧力の確認方法

本製品の電源スイッチを入れ、圧縮空気が充填完了してから、圧力調整ノブを時計回りに最大まで回転させてください。
調整圧力計を見て最高圧力を確認してください。



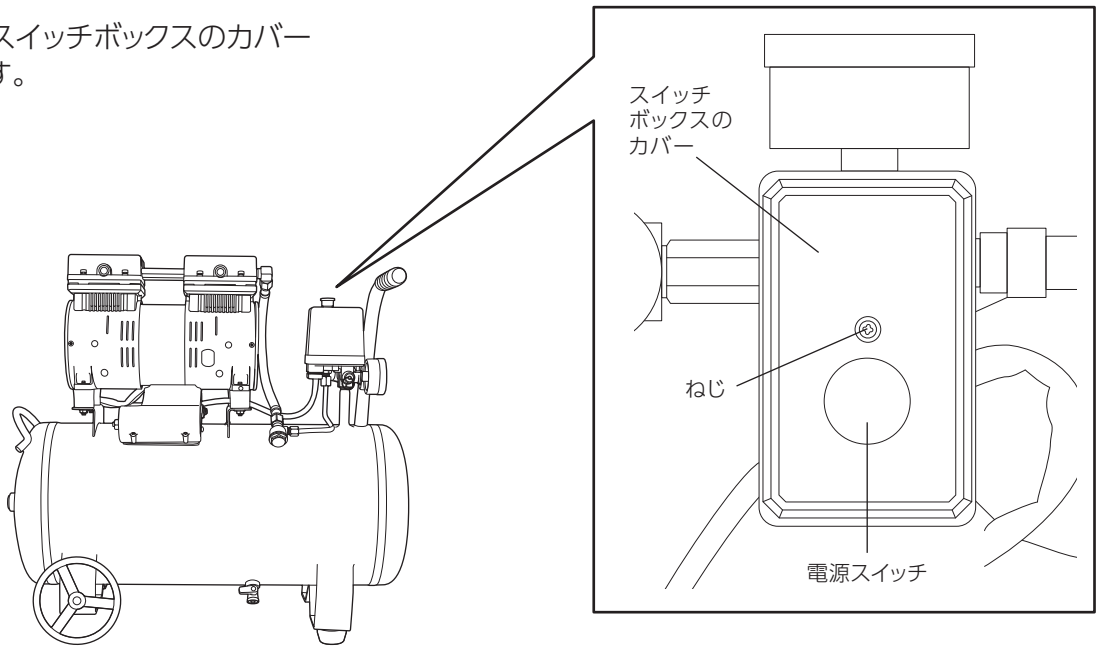
●使用最高圧力の調整方法

注

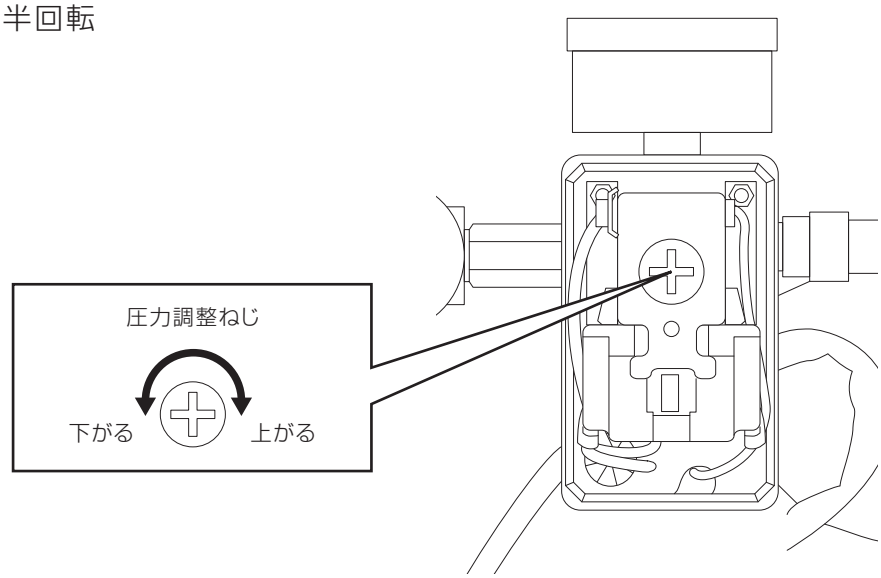
- ●圧力の調整には⊕ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんので、お手持ちの物を用意してください。

「使用最高圧力の確認方法」で使用最高圧力が0.8MPaでなかった場合、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の圧縮空気をドレンコックより、排出してください。

1. ⊕ドライバーでスイッチボックスのカバーのねじを外します。



2. 圧力調整ねじを⊕ドライバーで半回転させます。



3. 確認のため、空気の充填をしてください。

●空気を充填するときは感電防止のために必ずスイッチボックスのカバーを取り付けてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

4. 使用最高圧力が0.8MPaになるまで上記手順を繰り返してください。

お手入れ

お手入れと保管方法

⚠警 告

●お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
●故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気全てをドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

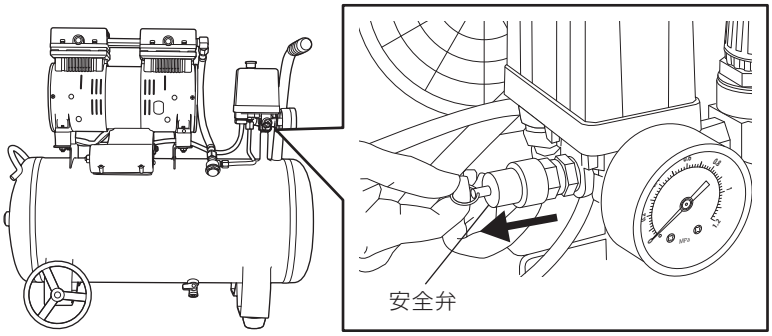
本体について

■各部取付ねじの点検

●各部取付けねじにゆるみがないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるねじがあれば、しっかりと締め直してください。

■安全弁

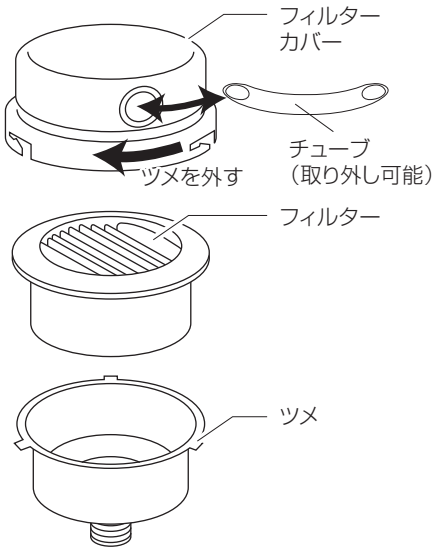
タンク内に圧縮空気が充填されている状態で、安全弁に取り付けられているリングを引くとタンク内の圧縮空気が吹き出します。
定期的に作動するか確認してください。



■エアーフィルター

⚠注 意

●ツメの固定が硬いときは、無理に回さないでください。(けがの原因)
お手持ちのペンチなどでツメを起こし、固定をゆるめてから回してください。
●フィルターは水洗い出来ません。目詰まりがひどいときはエアーダスターなどでごみを吹き飛ばすか、交換してください。
●フィルターは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)にて注文してください。



●フィルターは定期的に清掃してください。フィルターの汚れや詰まりは動作不良の原因になります。
●フィルターを清掃するときは、フィルターカバーを図の矢印の方向に回転させてツメを外し、中のフィルターを取り出してください。
●チューブを取り外した状態で使用しても実用上に支障はありません。(チューブは吸気音の抑制のため)紛失した場合もそのまま使用できます。

注

●本体内部のピストンは消耗品です。
目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、本体内部消耗部品(ピストンなど)の交換時期です。
そのときは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に修理をお申しつけください。

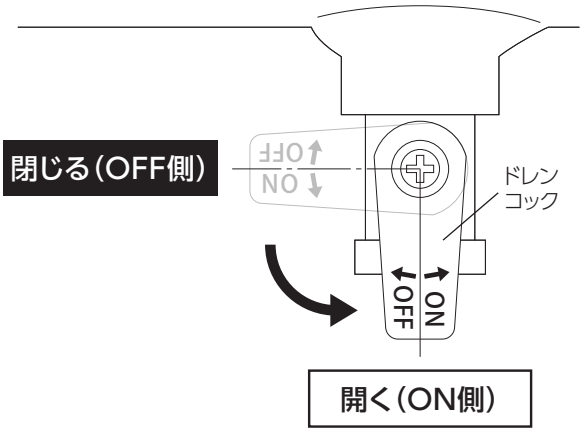
■作業後のお手入れ

⚠注 意

●本製品はタンク内塗装を施しておりますが、作業後は毎回必ずタンク内の水抜きをしてください。水抜きをしないと、タンク内のサビの原因となります。

1. ドレンコックを徐々に開く方向にまわしてタンク内の圧縮空気を全て排出します。
2. タンク内圧力計が「0MPa」を指していることを確認してから、ドレンコックを最大まで開いてタンク内にたまった水などを全て排出し、ドレンコックを元の位置(閉じる)に戻してください。

※ドレンコックの戻し忘れに注意してください。



■清掃

●ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

●汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

■保管

⚠注 意

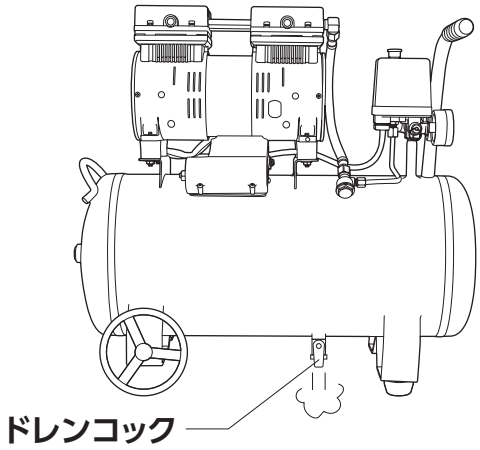
●必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンコックよりタンク内の圧縮空気・水を全て排出してから保管してください。

●使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

●長期間保管する場合

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. ドレンコックを開く方向にまわして電源スイッチを入れてください。
3. タンク内が乾燥するまで5分以上運転してください。
4. 電源スイッチを切り、ドレンコックを閉じる方向にまわして、電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。

ドレンコックを開く方向にまわした状態で5分以上運転



故障かな?と思ったら

⚠警告

●故障・異常時は直ちに電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、ドレンコックより圧縮空気を全て排出して作業を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
●修理の知識や技術のない方が修理すると十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

■状態	■原因	■対処法
モーターが作動しない。	注 タンク内圧力が0.5MPa以上でモーターが作動しない場合は故障ではありません。リリース機能の働きでタンク内圧力が0.5MPa以下に下がった場合、自動的にモーターが作動します。	
	①電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	②プロテクターが働いている	電圧降下などの理由によりプロテクターが作動していませんか?P15 プロテクターが作動した場合 を参照してください。
	③モーター保護装置が働いている	一度モーター保護装置が作動するとしばらく運転できません。モーター保護装置が作動したらスイッチを切ってください。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見あたらなければスイッチを入れ再使用してください。
安全弁が作動する。	①タンク内に水がたまっている	P19 保管 を参照し、タンク内を乾燥させてから再始動してください。
	②使用最高圧力の設定が適切でない	使用最高圧力の設定が安全弁の設定圧力0.88MPaより高くなっていませんか? P16・17 使用最高圧力の調整 を参照して圧力の設定を適切な値に調整してください。
	③安全弁の故障	上記②の対処を行っても、設定圧力以下で安全弁が作動する場合は、安全弁の故障が考えられます。直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気全てをドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

お手入れ(続き)

■状態	■原因	■対処法
空気が漏れる。	①ドレンコックが完全に閉じていない	ドレンコックを閉じる方向にしっかりとまわしてください。
	②安全弁からの漏れ	安全弁のリングを一度引いてから自動的に戻るか確認してください。戻らない場合は故障が考えられますので、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
	③接続部からの漏れ	接続部をしっかり締めつけ、接続を確認してください。
	④本体内部消耗品(ピストンなど)の摩耗	目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、本体内部消耗部品(ピストンなど)の交換時期です。そのときは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に点検・交換・修理をお申しつけください。
空気の充填に時間がかかりすぎる。	①エアーフィルターの汚れ	エアーフィルターが汚れていませんか?エアーフィルターは定期的に点検し、汚れ・つまりがないようにしてください。
	②空気の漏れ	各部から空気の漏れがないか確認してください。
	③電圧降下	P15 プロテクターが作動した場合 を参照して原因を取り除いてください。
	④本体内部消耗品(ピストン・ベアリング等)の摩耗	目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、本体内部消耗部品(ピストンなど)の交換時期です。そのときは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に点検・交換・修理をお申しつけください。
本体金属部に触れるとビリビリする。	①漏電している	感電のおそれがあります。直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

いずれの場合にもあてはまらないときはご自分で修理せず、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

MEMO

保 証 書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物（販売証明書やレシート等）が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

●保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。

●保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品 名	EARTH MAN 静音オイルレスエアーコンプレッサー			お買上げ日	年　月　日
型 式	25L ACP-25SLB 39L ACP-39SLB	JAN コード	4907052 378209 4907052 378216	保証期間	お買上げ日より6か月
販売店				販売証明書や レシート等を 添付してください。	

保証規定

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
   保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   - ●使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
   - ●お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
   - ●火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
   - ●家庭用以外（例:業務用の長時間使用、車輌・船舶への搭載等）に使用された場合の故障及び損傷。
   - ●本書の提示がない場合。
   - ●本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
   従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合せください。
   - ●修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
   性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
   ※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元　株式會社 高儀

株式会社 高儀　お客様相談窓口

※製品・部品購入・修理に関しては、お買上げの販売店又は弊社ホームページ内の「製品サポート」よりお問い合せください。

TEL 0258-66-1233
受付時間 AM9:00～PM5:00（土日及び弊社休日を除く）

ホームページ：
http://www.takagi-plc.co.jp/

■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。